



南が丘中学校区子ども人権フォーラムを開催しました

11月4日(水)南が丘小学校で、小学校5、6年生の代表児童と中学校の代表生徒による子ども人権フォーラムを開催しました。中学校からはMHRと生徒会のメンバーあわせて11人が参加しました。4つのグループに分かれ、中学生が進行役となり、「人を傷つける行為とはどんな行為だろう」「そのような場面で自分ははどうしていただろう」「このことに対して、これから自分はどの向き合っていくのか」をテーマに自分自身の体験や、考えを話しながら、無意識のうちに人を傷つけてしまう行為や、身の回りにあるいじめの問題についても意見交換を行いました。一生懸命に小学生の意見を引き出そうとする姿や、友達の話にうなずきながら思いを受け止めようとする姿、勇気を出して自分自身の経験を語る姿に、「人とのつながりを大切にしたい」、「いじめや差別をなくしていきたい」という思いを感じることができました。また、中学生として成長していく姿を実感することができました。



参加した生徒の感想に、ある小学生の発言が紹介されていました。「一人の小学生が、私が勇気を出して注意することができなかった話を伝えた時に、『家族とまではいかなけれど親友みたいな関係をクラス全体で築いていくといいと思う』と言ってくれた。『そんな関係を築くためにどうしたらいいか』と聞くと、『リビングのような場所』という言葉を使い、『皆さんはリビングのような場所を作ることは難しいと思っているけど、私はそうは思っていない。』と答えてくれた。その意見を聞き、私は確かに難しいと思っていたけど、難しく考えすぎただけで、毎日の注意などのささいな行動で変わっていくのだとわかった。」というものです。皆さんの学級は、いいことも悪いことも、うれしいことも悲しいことも、何でも話せるような「リビング」になっていますか？ぜひそんな学級を目指してください。

三重県では、11月11日から12月10日までの1か月間を「差別をなくす強調月間」とし、すべての県民の人権が尊重される社会の実現をめざし、人権意識の高揚に向けた啓発活動などに取り組んでいます。

本校においても、この期間をとらえ、学年ごとに出会い学習を実施しています。1年生では障がい者の人権に係わる問題、2年生では在日コリアンの方々の人権に係わる問題、3年生は部落問題について、人との出会いを通して人権問題をより身近なものとしてとらえ、自分自身の生き方を考える学習を進めています。ご家庭でも子どもたちが授業でどのように感じ、考えたのか、自分自身どのような生き方をしていくのか、ぜひ子どもたちの素直な思いに耳を傾けてみてください。

ちょっといい話

少し前になりますが、全盲の女性への店員さんの“神対応”がSNSで話題となっていたそうです。このことを紹介した記事を転記しましたので、ぜひ読んでみてください。

「クロックポジション」という言葉をご存知でしょうか。目が不自由な人でもテーブルの上の物の位置などが把握できるよう、どこに何があるのかを時計の短針にたとえて知らせる方法です。近年、ドラマや映画などで描かれているとはいえ、実社会ではまだまだ…。そんな中、〇〇ゼリヤ(レストラン名です)を訪れたある全盲の女性への“神対応”が、ネット上で感動を呼んでいます。

◆ピザは12時、サラダは3時…

ツイッターユーザーのさくらさんが6月末、4か月ぶりに訪れた〇〇ゼリヤでの一コマ。「嬉しくてお料理たくさん注文しちゃったんだけど、料理を運んでくれた大学生くらいの男の店員さんが、『ピザは12時、サラダは3時、チョリソーは10時方向に置きますね』



クロックポジションで伝える

って説明してくれて、もう、感動しすぎて涙出そうでした」とツイートしたところ、瞬間に拡散され、丸1日もたたないうちに7.5万リツイート、38.8万いいねを集めています。

リプライ欄には「時計に例えれば分かりやすいんですね」「気配りができるってこういうことだと思う」「まさに言葉で表すバリアフリー」といった称賛の声のほか、さくらさんが全盲でもツイッターを駆使していることへの驚きや、日常生活、嬉しい配慮は？といった質問も相次ぎました。

◆どんな状況だったのでしょうか？

「お店には主人と娘の3人で行ったのですが、店員さんには特別こちらから何かを伝えたわけではありませんが、入店した時に白杖（視覚障がい者が使う白い杖）をついていたので、たぶん気付かれたのだと思います。あまりにも自然な説明でびっくりして、、、。お若い方でしたし、きっと、たとえ知識として知っていたとしても、実践するには勇気がいったでしょうに。本当にうれしくて、〇〇ゼリヤさんにお礼のメールを送ってしまいました（笑）」

〇〇ゼリヤ広報室によると、同社では数年前に視覚障がいの来店者への「接客ガイド」を制作し、全店（当時）に配布。その中に禁止事項や注意事項とともに、クロックポジションについても触れられているといいます。「このクルーは特に意識が高かったと思いますが、お客様に大変喜んで頂きて、うれしく思います」（担当者）とも。

◆料理が来たと気づかず「食べるか触るかしないと場所が分からない」ことも

さくらさんは、先天性弱視でしたが8年ほど前に緑内障が進行し、全盲になったそうです。まだ視力があるころには理学療法士の資格も取得し、全盲になってからもしばらく働いていました。今は主婦をしており「一人で慣れた場所を歩いたり、音声読み上げ機能を使ってiPhoneを使ったりできるようになりましたが、初めは訓練を受けて一つ一つできることを増やしてきました。それでも、誰かの手を借りなければ困ることもたくさんあります」と話します。

これまでもクロックポジションで説明されたこともたまにあるそうですが、「今回のような年頃の方にそういう心配りは受けたことがなかったので感動して…」とさくらさん。逆に困った経験としては、「視覚障がい者同士で居酒屋などに行ったとき、まとめて注文した料理を次々にテーブルに置かれてしまい、食べるか触るかしないと確認できなかったり、黙って置いていかれたためお料理が運ばれてきていることにも気付かなかつたりしたときもありました」とも。「例えば食事なら、お料理や飲み物を運んできたとき、それが何か、どこに置くのかや、背が高く不安定な入れ物、火傷をする可能性のある鉄板なども伝えてもらえたら、安心して楽しく食事ができると思います」と話します。

普段の生活ではiPhoneのボイスオーバーという読み上げ機能を駆使してインターネットで買い物をしたり、SNSで友達とつながっているといい「実際に街へ出かけて買い物をしたり、自由に好きな時に人に会いに行ったりすることがしにくい視覚障がい者にとって、今や欠かせない存在です。技術もだんだん進歩していますし、是非、こういう機能があるということを、たくさんの方に知っていただきたいです」とさくらさん。

「まさか、これほど反響を頂けるとは思ってもいませんでした」と驚きつつ「関心をもって頂けたり、参考になったと言ってくださったり、心の暖かい方がとても多くて嬉しくなりました。そして、私たち当事者が正しい情報を伝えていくことで、もっとみんなが暮らしやすい社会になるんだろうなと感じました。本当にありがとうございます」と話してくれました。



日常のちょっとした出来事に思わず感動することがあります。この世の中、なかなか捨てたものじゃないです。

12月の主な行事予定です

- | | | |
|-----|----------------|----------------------------|
| 12月 | 2日（水）～4日（金） | 3年三者懇談会* |
| | 5日（土）～6日（日） | 津市図工・美術展* |
| | 7日（月） | 小中合同人権集会
（中2・小6年が参加します） |
| | 15日（火） | 大掃除 |
| | 18日（金） | 給食終了 |
| | 18日（金）～22日（火） | 三者懇談会 |
| | 23日（水） | 終業式 |
| | 24日（木）～1月7日（木） | 冬季休業 |
| 1月 | 8日（金） | 3学期始業式 |



高等学校等説明会について

10月30日（金）、11月2日（月）に開催しました県立・私立高等学校等の説明会について、各学校の説明の様子を、ホームページに掲載しましたのでお知らせします。生徒・保護者向け（要ログイン）で、ID：〇〇〇〇 パスワード：〇〇〇〇を入力し、「学校生活のページ」からご覧ください。なお、個人情報等の関係で一部掲載できない学校がありますのでご了解ください。また、掲載期間は12月4日（金）までとさせていただきます。